

サプライヤー 行動規範

More Lives Saved – More Life Lived

Autoliv

コンテンツ

目的と範囲	3	安全で包括的な職場	9
		一般的な期待	9
サステナビリティの枠組み	4	児童労働と強制労働.....	9
		公正な労働条件.....	9
より多くの命を救う	5	結社の自由.....	9
品質	5	健康と安全	9
交通安全	5	ハラスメントの禁止と差別の禁止.....	9
責任あるビジネス	6	気候と環境への取り組み	10
一般的な期待	6	一般的な期待	10
腐敗防止	6	化学物質管理	10
利益相反	6	エネルギーと温室効果ガスの排出	10
偽造部品	6	天然資源と廃棄物管理	11
データのプライバシーと機密情報.....	7	水と空気の質.....	11
輸出規制と制裁.....	7	違反、検査権、および協力	12
公正な競争.....	7	率直な発言と報復の禁止	13
経済的責任.....	7		
責任ある材料調達	8		
責任ある税務慣行	8		



目的 & 範囲

サステナビリティのパフォーマンスは、オートリブの調達戦略における決定要因の1つです。このサプライヤー行動規範（「サプライヤー規範」）は、すべてのサプライヤーが Autoliv パートナーとしてコミットしなければならない期待を設定します。これは、Autoliv と、または Autoliv のために取引を行っているすべてのサプライヤー、その従業員、代理店、サプライヤー、および下請け業者に適用されます。サプライヤーとの契約に記載されていない範囲で、すべてのサプライヤーは、サプライヤーと下請け業者が適用される法律と規制、およびこのサプライヤー規範に示されている原則を遵守していることを確認する必要があります。すべてのサプライヤーは、常に、サプライヤーに対して適切なデューデリジェンスを実施することが期待されています。オートリブ事業との関係。

このサプライヤー行動規範は、オートリブの行動規範（誠実さをもって人命を救う）、以下の憲章および協定、ならびに関連する国際法および規制に基づいています：

- 国連グローバル・コンパクト
- 国連世界宣言人権
- ビジネスに関する国連指導原則と人権

- 国際労働機関の宣言労働における基本原則と権利
- 多国籍企業のための OECD ガイドライン
- グローバル自動車持続可能性ガイド原則
- 英国現代奴隷法

すべてのサプライヤーは、関連する現地の法律および規制に従って行動しなければなりません。ただし、このサプライヤー規範の基準が現地の法律よりも厳しい場合、すべてのサプライヤーはこのサプライヤー規範に従う必要があります（そうすることが違法になる場合を除く）。

このサプライヤー規範に従い、したがって Autoliv が自らに期待する基準に従うことで、これが最も成功し、相互に持続可能なビジネス関係の基盤を築くと固く信じています。



サステナビリティの枠組み

オートリブとすべてのサプライヤーの間で、私たちは持続可能性フレームワークに沿って優先事項と計画を整理することを目指しています。

このフレームワークは、責任あるビジネス、安全でインクルーシブな職場、気候と環境への取り組みに支えられて、製品とサービスを通じてより多くの命を救うことを私たちのすべての活動の中心に据えています。



より多くの命を救う

より多くの命を救うという Autoliv のビジョンは、私たちのすべての仕事の原動力であり、持続可能性アジェンダの不可欠な部分です。したがって、オートリブにとって、すべてのサプライヤーが交通安全の原則に基づいて一貫して行動し、オートリブに提供される製品とサービスの品質を確保することが重要です。また、すべてのサプライヤーには、意思決定と行動において予防原則に従うようお願いしています。これは、提案された行動が環境や社会に悪影響を及ぼしたり、健康と安全のリスクをもたらす可能性があると感じる理由がある場合、すべてのサプライヤーが常に保護措置を講じなければならないことを意味します。

品質

Autolivの製品に二度目のチャンスはありません。したがって、品質への絶え間ないコミットメントは、私たちが行うすべての核心です。Autoliv がこれを達成するためには、すべてのサプライヤーが同じように注意を払う必要があります。サプライヤーから受け取るすべての製品およびサービスは、サプライヤーが規定する契約上の仕様を満たし、意図した用途に適合する必要があります。サプライヤーが品質に関して懸念または疑問を持っている場合、直ちに Autoliv に報告する必要があります。

交通安全

私たちは、すべてのサプライヤーに対し、交通安全に取り組む体系的な方法を採用し、以下を事業の関連するすべての側面に統合することを強く求めます:

- 影響範囲内で交通安全を強化するための明確な方針と目標を策定している、または策定しようとしている。ポリシーは、道路交通安全に対する組織のアプローチと、バリューチェーン内でのサポートへの取り組みを説明する必要があります。
- ポリシーには、交通安全に対する組織のアプローチと、バリューチェーン内でのサポートへのコミットメントを記述する必要があります。
- 私たちの研究と経験を通じて、次の対策が交通安全に大きな影響を与えることを知っています: シートベルトの着用義務 (運転手と同乗者)、アルコールとモバイルデバイスの使用に対するゼロ許容度、高い安全基準を持つ車両の調達 (商用車と乗用車の両方)、休憩/休息の指針、速度制限を順守します。すべてのサプライヤーは、オートリブの重要な安全要因に従う必要があります。
- 交通安全フットプリント: すべてのサプライヤーは、交通安全フットプリント (業務およびサプライチェーン内の道路関連する傷害)を理解し、管理するよう努める必要があります。オートリブはすでに、すべてのサプライヤーに対し、サプライチェーン内で発生した交通事故死傷者数を追跡することから始め、交通安全対策を改善してこれらの数を減らすために体系的に取り組むことを推奨しています。
- 安全要件をサプライチェーンにカスケードすることを強く推奨します。

オートリブは、すべてのサプライヤーが自らの交通安全活動を振り返ることを奨励することで、より多くの命を救うために、ポジティブで強化された影響を増幅するのに役立ちます。



責任あるビジネス

一般的な期待

適用されるすべての法律および規制を順守して作業することは、すべてのサプライヤーにとって基本的な要件です。さらに、私たちは高い倫理基準と誠実さに基づいた仕事上の関係を固く信じています。最も生産的なパートナーシップを可能にします。

すべてのサプライヤーは、トレーニング、管理、管理について積極的に考える必要があります。また、プロセスを監視して、事業継続計画を含む独自の責任あるビジネス慣行を実施し、法務およびコンプライアンスのリスクを適切に管理する必要があります。

腐敗防止と贈収賄

すべてのサプライヤーは、グローバルな腐敗防止および贈収賄防止を遵守する必要があります。米国海外腐敗行為防止法、英国贈収賄防止法、中国刑法第 164 条などの規制。したがって、すべてのサプライヤーは、あらゆるビジネス取引において、あらゆる場所で、あらゆる形態の贈収賄を一切容認してはなりません。これは、すべてのサプライヤーが、直接的または間接的に（つまり、第三者を介して）いかなるビジネスにも不適切に影響を与えたり実行したりするために、価値のあるものを決して提供、約束、要求、または受領しないように、すべての従業員、代理店、および彼らに代わって働く他の人に通知し、監視する必要があることを意味します。決定またはタスク、またはその他の形式の不当な利益を得るために。これには、個人と政府関係者の両方との取引が含まれます。

政府との取引には特に注意が必要です。適切な監視とレビューを可能にするために、正確な帳簿と記録を維持する必要があります。

サプライヤーと Autoliv の間で贈答品や接待が提案される場合、これは透明性をもって行われなければならない、決して贈収賄の申し立てや利益相反の発生を引き起こすような方法で行われてはなりません。

サプライヤーが、以下の事件または疑いに気付いた場合、Autoliv とのビジネス取引に影響を与える、または Autoliv の従業員が関与する贈収賄または汚職（詐欺、マネーロンダリング、横領、恐喝を含む）を行った場合、直ちに報告する必要があります。レポートオプションに関しては、以下サプライヤーポータル上のウェブサイト (www.autoliv.com/speak_up) をご参照ください。

利益相反

すべてのサプライヤー、その従業員、およびそのサプライヤーは、客観的な基準に基づいて公正な決定を下すよう奨励および支援されなければなりません。

オートリブとのビジネス取引に影響を与える利益相反を特定し、回避するために、適切なトレーニングを提供する必要があります。



責任ある ビジネス

偽造品

すべてのサプライヤーは、模倣品の部品や材料が製品に混入するリスクを最小限に抑えるよう努めなければなりません。これをサポートするには責任を果たすために、偽造部品や材料を検出する意味のあるプロセスを確立する必要があります。

サプライヤーが Autoliv との取引に影響を与える偽造部品または材料に気付いた場合、直ちに Autoliv に報告する必要があります。

データのプライバシーと機密情報

すべてのサプライヤーは、適用されるデータプライバシー法に従い、これらの義務に従ってのみ個人データが収集、使用、保存、および削除されるようにするための適切なシステム、トレーニング、および管理を実施する。また、すべてのサプライヤーは、Autoliv がサプライヤーと共有する個人データ、または Autoliv が関与する業務に関して収集する可能性のある個人データについて、これらのデータ プライバシー義務が自社のサプライヤーによって守られていることを確認する必要があります。

サプライヤーが Autoliv に影響を与える個人データの侵害に気付いた場合、過度の遅滞なく、または契約上の合意に従って Autoliv に報告する必要があります。

特定のデータプライバシー要件に加えて、すべてのサプライヤーは、委託された機密情報や機密情報を尊重し、十分な注意を払って保護する必要があります。また、リスクを理解し、十分な制御を実施することにより、運用のサイバーセキュリティを確保する必要があります。

すべてのサプライヤーは、オートリブへ悪影響を及ぼす可能性のある、機密性の高い機密情報の使用に関して許可されていない疑いのある、または疑わしい行為を報告する必要があります。

輸出規制と制裁

すべてのサプライヤーは、商取引に影響を与える世界的な貿易、輸出管理、および経済制裁に関する法律を常に把握しておく必要があります。これらの法律は幅広い活動をカバーする可能性があり、すべてのサプライヤーは、遵守をサポートするための適切なシステムと管理を維持する必要があります。

サプライヤーが違反または違反の可能性に気付いた場合彼らに影響を与える貿易、輸出管理、制裁法の Autoliv と何らかの形で取引を行う場合、Autoliv に報告する必要があります。

公正な競争

すべてのサプライヤーは、適用される競争法および反トラスト法を遵守する必要があります。すべてのサプライヤーは、価格操作、入札談合、市場配分、競合他社との、または自社のサプライヤーを介した競合情報の不適切な交換など、違法に競争を制限するビジネス慣行を回避する必要があります。Autoliv の競合他社とやり取りする場合、すべてのサプライヤーは Autoliv の機密情報を開示したり、そのような交換を促進したりしてはなりません。

すべてのビジネスステートメントとコミュニケーションは、真実かつ正確でなければなりません。



責任ある ビジネス

金銭的責任と正確な記録

すべてのサプライヤーは、製品検査、時間の記録、安全性報告、財務会計、環境報告など、Autoliv が関与する事業運営のすべての要素にわたって正確な事業記録を維持する必要があります。

すべてのサプライヤーは、一般に認められた会計原則に従って行動する必要があり、会計記録はすべての取引の性質を正確かつ誤解を招くような方法で示さなければなりません。

これには、適用される規制および一般的な業界慣行に従って、予想される財務および非財務情報の開示に関する次の義務が含まれます。

責任ある材料調達

すべてのサプライヤーは、オートリブへの材料およびサービスの調達が、倫理的、持続可能、および社会的意識のある方法で管理されることを保証する必要があります。調達方針は、国際労働機関（ILO）および国連ビジネスと人権に関する指導原則（UNGP）によって確立された原則に沿っている必要があります。すべてのサプライヤーは、Autoliv が調達する品目が人権侵害、倫理違反、または環境への悪影響を助長しないように、適切なデューデリジェンスを実施する必要があります。

これらの取り組みは、サプライチェーン全体、特に鉱物や金属に関する適切なデューデリジェンスによってサポートおよび証明されなければなりません（例：コバルト調達の詳細など）。期限要求に応じて Autoliv の検査を実施できるようにする必要があり、すべてのサプライヤーは、すべての重要な原材料の透明性とトレーサビリティを最大限に高めるための Autoliv の取り組みを積極的にサポートする必要があります。

あります。Autoliv は、コバルトおよび紛争鉱物（3TG）のすべての製錬所が、責任ある鉱物保証プロセス（RMAP）に準拠している、RMAP に準拠している、アクティブである、または RMAP 監査に対応している必要があります。

責任ある税務慣行

すべてのサプライヤーは、すべての納税義務を支払い、関連する支払い期限を守り、関連するすべての税法と、事業を行っている税法域の会計規則および規制を完全に遵守する必要があります。すべてのサプライヤーは、納税義務について税務当局に対してオープンで透明性があることが期待されます。



安全で包括的な職場

一般的な期待

私たちは、安心して参加できると感じた場合のみ、長期間にわたって最高のパフォーマンスを発揮できます。これは、それが正しいことであるだけでなく、私たちの商業目的を維持するために不可欠です。

児童労働と強制労働

私たちは、サプライチェーンのどの部分においても、いかなる形態の児童労働や強制労働も容認しません。サプライヤーは、15歳未満の従業員、請負業者、またはサブサプライヤーを雇用してはならず、すべて自由に雇用する必要があります。強制労働には、債務による束縛、囚人労働、雇用主が差し控える個人文書、人身売買など、あらゆる形態の現代奴隷制が含まれます。

サプライヤーが自身の業務またはサプライヤーの業務において児童労働または強制労働の事件（またはそのような重大な申し立て）に気付いた場合、この情報を直ちに Autoliv に報告する必要があります。

公正な労働条件

すべてのサプライヤーは、すべての従業員の労働条件が関連するすべての法律および規制に準拠していることを確認する必要があります。これには、残業を含む労働時間、雇用契約、賃金、および利点が含まれます。

結社の自由

すべてのサプライヤーは、従業員が労働組合または現地の法律で認められているその他の形態の従業員団体を結成する権利を尊重しなければなりません。従業員は、安全な環境で経営陣と労働条件について話す機会を奨励され、提供されるべきです。

健康と安全

市場と職場の両方において、健康と安全は私たちのビジネスの要素以上のものです - それは私たちのビジネスです。職場での安全には、身体的安全だけでなく精神的健康も含まれます。すべてのサプライヤーが安全衛生を最優先事項とし、事故ゼロを目標とすることを期待してください。健康と安全に対する責任は、上級管理職から始まります。健康と安全のリスクと危険を特定し、適切に軽減する必要があります。これは、適切なシステム、管理、トレーニング、およびパフォーマンスを通じて証明する必要があります。モニタリング。Autoliv は、すべてのサプライヤーが ISO 45001 (労働安全衛生管理システム) を遵守することを奨励しています。

ハラスメントの禁止と差別の禁止

Autoliv は、職場でのいかなる形態の嫌がらせや差別も許しません。これは、すべてのサプライヤーにも当てはまります。これには、性別、性同一性、民族性、宗教、年齢、障害、性的指向、国籍、政治的意見、組合への所属、社会的背景、または適用される法律によって保護されているその他の特性に基づくあらゆる形態の差別が含まれます。



気候と環境への取り組み

一般的な期待

強力な気候および環境管理は、基本的なビジネス責任であり、成功要因です。オートリブでは、単に市場慣行に従うつもりではなく、リーダーになりたいと考えています。この野心を実証し、支えるために、私たちは明確な気候変動への野心を設定しました:

- ➔ 2030年までに自社の事業をカーボンニュートラルにする
- ➔ 2040年までにサプライチェーン全体でGHG排出量を正味ゼロにする

これらの目標を達成するには、サプライチェーンのすべてのメンバーと協力して取り組む必要があります。私たちは、強力な環境管理システムを通じて関連する環境への影響を特定し、必要に応じて該当する認証を取得し、該当する報告要件に従って、すべてのサプライヤーがすべての環境法および規制を厳格に順守することを期待しています。すべてのサプライヤーがISO 14001（環境管理システム）を遵守することをお勧めします。

Autolivは、すべてのサプライヤーが体系的に評価、測定、評価することを期待しています。エネルギー効率、温室効果ガスの排出、水、廃棄物、大気の質などの重要な分野で環境への影響を継続的に削減します。可能な限り、私たちのアイデアや経験を共有します。そして、すべてのサプライヤーに同じオープン性を期待します。

化学物質管理

すべてのサプライヤーは、安全な取り扱い、移動、保管、使用、リサイクル、および廃棄を確実にするために、化学物質の識別と管理を可能にする明確な手順を持たなければなりません。

すべてのサプライヤーは、制限付き物質の使用を特定、最小限に抑える、または排除する必要があります。これらの要件を満たすために、すべてのサプライヤーはプログラム（国際材料データシステム）を確立して、自社のコンポーネントメーカーからデータを収集し、現地の法律または共通の自動車業界基準に従って制限物質として分類されているすべての化学物質を特定する必要があります。

エネルギーと温室効果ガスの排出

すべてのサプライヤーは、オートリブの方針に沿って、適切な目標を設定する必要があります。気候に関する目標を達成し、自社の事業および自社のサプライチェーンを通じて、温室効果ガス排出量の削減に向けた進捗状況を実証し、報告することができます。

すべてのサプライヤーは、大幅な効率改善を目標とするエネルギー管理プログラムと、再生可能エネルギーの使用を増やすためのプログラムを用意する必要があります。



気候と 環境への 取り組み

天然資源と廃棄物管理

すべてのサプライヤーは、廃棄物削減目標を設定し、計画を立てる必要があります。リデュース、リユース、回収、リサイクル、廃棄にまたがる。廃棄物は、従業員の健康と安全、および環境を保護する方法で処理および処分する必要があります。

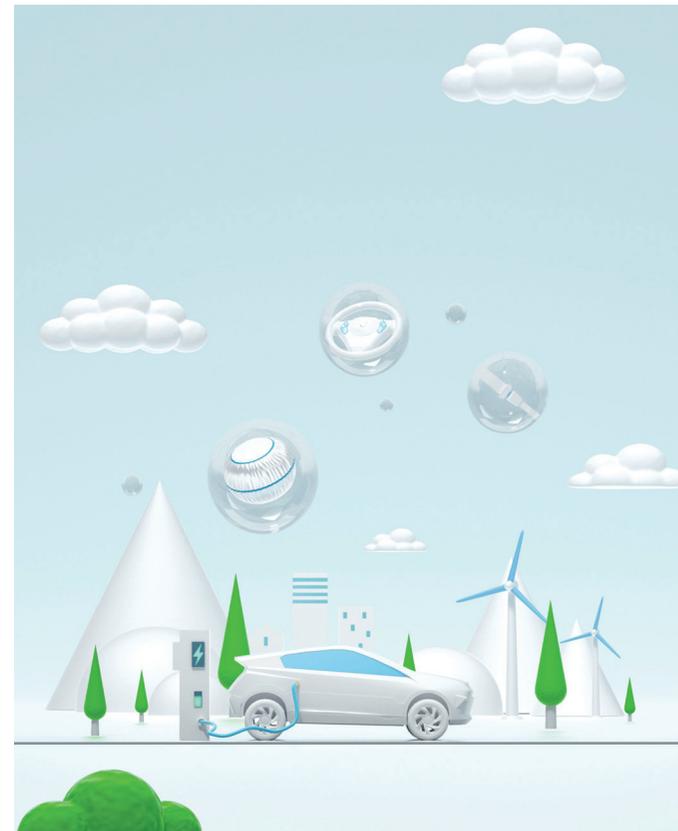
すべてのサプライヤーは、製品のライフサイクル全体で廃棄物や残留製品が最小限に抑えられるように、持続可能で再生可能な資源の使用を効率的に増やすための計画と行動を示すことができなければなりません。すべてのサプライヤーは、廃棄処理も考慮して、関連するエコデザインと循環性の原則を設計と製造に適用することが期待されています。

水と空気の質

すべてのサプライヤーは、水の使用量を評価し、水の保全と使用量の削減のためのプログラムを開発し、廃水の排出を適切に処理する必要があります。

大気質は、排出量を最小限に抑えるために開発されたサプライヤーの業務および計画全体にわたって定期的に監視されるものとして。

大気質への排出には、たとえば、揮発性有機化合物 (VOC)、腐食性物質、粒子状物質 (PM)、オゾン層破壊物質、大気毒物、および事業全体で生成される燃焼副産物が含まれます。



違反、検査権、 および協力

本サプライヤー規範への違反

サプライヤーがこのサプライヤー規範の違反の可能性に気付いた場合、オートリブの連絡先にすぐに通知する必要があります。もし違反が確認された場合、是正措置計画が必要です。違反があった場合、Autoliv とのビジネス関係が終了し、場合によっては損害賠償の措置が取られる可能性があります。

検査権と協力

オートリブは、質問票または現場検査（自社または指定された第三者による）を通じて、このサプライヤー規範の順守を確認する権利を有し、すべてのサプライヤーは、これらに対してあらゆる合理的な形の協力を提供する必要があります。

オートリブに関する懸念

同様に、サプライヤーが Autoliv に対して懸念または申し立てを行っている場合は、直ちにこれを提起する必要があり、私たちはあらゆる合理的な支援を提供します。



率直な発言と 報復の 禁止

オートリブの活動に携わる者は、懸念、問題、または質問があれば、安心して声を上げなければなりません。この権利は、単に想定することはできません。私たちは皆、すべての人が安全で意見をはっきり述べる権限を与えられていると感じる仕事環境を作り上げる上で果たすべき積極的な役割があります。

すべてのサプライヤーは、健全で効果的な発言環境を維持するために、適切なシステム、トレーニング、リーダーシップによるサポートを提供する必要があります。その一環として、すべてのサプライヤー従業員は、誠意を持って懸念、問題、または質問を提起した場合、いかなる形態の報復からも保護されることを知っておく必要があります。

サプライヤーが抱えている懸念や問題については、まず Autoliv の担当者と率直に話し合うことができることを願っています。ただし、何らかの理由でこれが不可能な場合は、どんな理由であれ、機密 [Autoliv Speak Up Helpline](#) をご使用ください。詳細に関しては Autoliv Partner Portal 上またはウェブサイト (www.autoliv.com/speak_up) をご参照ください。



サプライヤー行動規範

2023年1月

オートリブ サプライヤー行動規範の英語版は、この翻訳版を優先されるものとします。
英語版とこの翻訳版の間に (何らかの性質の) 相違がある場合、元の英語版が適用されるものとします。

Autoliv